

陽氣所發金石亦透
No.7



大戸 博史

(福山市民オンブズマン会議 代表)

毎月1日号に掲載

福山市は太っ腹？

多くの市民の皆さんが、現在大いに不便を感じていらっしゃる、福山駅前の大工事に関連して、一部は裁判となり、現在広島地裁で係争中です。

私個人としては、工事以前の駅前（南口）で良かったのではないかと、感じています。

仕事の関係で、東京・大阪からプロの演歌歌手や、作詞・作曲家を迎えることも多いのです。自家用車で駅前へ横着し、「ようこそ、備後福山へ」と。また見送りでは、お客さんが改札口へと消えるまで、運転席から目で追っていました。

その際、昼間なら新幹線越しに福山城天守閣が見え、春は桜が見事に咲き誇っています。

車の横着けスペースは少し湾曲していましたが、混み合う時でも市民は心得たもので、2重・3重にも列をつくりながら互いに譲り合い、車はスムーズに流れていたのです。

私の知る限り、何十年もの間にわたり、確か大事故は無かったですと思います。

何故、城遺構を壊してまで、わざわざ空気の悪い地下へと、

市民を追いやるのでしょうか。聞くとところによれば、急激に地中深くまで潜り、大変危険なヘアピンカーブもあるとのこと。未曾有の豪雨が流れ込んだり、また事故火災が起きたら：との心配は無用でしょうか。

単純な疑問ですが、そもそもこの地下送迎場は、必要ならば民間会社JR西日本が造るべきではないでしょうか。

つまり、一定限度の駅前整備は不可欠としても、地下の乗降場等のスペースに、税金を投入するのは、とてつもなく不自然に思えてなりません。

更に奇妙なことがあります。JRは、駅前の市有地も含まれる区域で客待ちするタクシー会社から、長年にわたり地代を徴収してきたようです。

市は、工事地区内に双方の所有地が絡み合っている為、JRの土地と交換する(?)として、あろう事か、1年の営業利益が約5700万円に上る、北口の駐車場を差し出したとのこと。そして、そもそもこの工事の設計・業務委託料など(6500万円以上)も、JRの子会社と聞けば、これは一体、何が起っているのでしょうか。

福山市は、一連のいきさつを、市民に明らかにすべきではないでしょうか。

21億円といわれる工事完了の後も、警備など多額の管理費も予想され、リーデンローズ北の「豪華橋」共々、市民は見過ごしてならないと思います。